

## 各連携事業における評価指標

## 7割近くの指標で「達成済み」

※新型コロナウイルス感染症の影響を除くと約8割

■全80指標のうち、「評価不可」の9指標を除いた71指標について、達成済みは47指標と全体の約7割を占める。コロナ禍でありながらも、感染症対策を講じながら実施に至った事業が多く見られた。また、多くの人が集まるイベント等、感染拡大防止のため人数制限下での実施を余儀なくされた事業もあり、これにより「未達」となった9指標を除くと約8割の指標が「達成済み」となった。

役割	◎	□	×	小計	—	合計
1 圏域全体の経済成長のけん引	11	1	5(3)	17	0	17
2 高次の都市機能の集積・強化	4	0	1(0)	5	2	7
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	32	3	14(6)	49	7	56
合計	47	4	20(9)	71	9	80

【評価凡例】 ◎：達成済み □：概ね（85%以上）達成 ×：未達 —：評価不可

※2023年3月末時点における評価

※（ ）内は新型コロナウイルス感染症の影響を受けたもの

## &lt;達成済みの主な事業&gt;

【経済】連携した企業誘致の推進

【経済】新製品・新技術開発のための支援

【経済】販路拡大に向けた支援

【経済】生産性向上に向けた支援

【都市】三次救急医療等の提供

【都市】公共施設の相互利用や配置に関する検討

【生活】公立夜間中学の共同活用

【生活】雪堆積場の共同活用

【生活】圏域外からの移住促進

【生活】さっぽろ圏人材育成・確保基金の造成

ほか

## &lt;達成不可（見込）の主な事業&gt;

【経済】MICE誘致の推進

【生活】子どもの社会体験活動

【生活】にぎわいの創出

ほか

## 3つの役割における重要業績評価指標（KPI）

役割	指標名	基準値 (現状値)	実績値 (参考値)	目標値
1 圏域全体の経済成長のけん引	圏域内民営事業所売上	27兆9千億円 (2015)	—	30兆円 (2023)
	観光入込客数	37,076千人 (2017)	20,290千人 (2021)	44,000千人 (2023)
2 高次の都市機能の集積・強化	札幌駅の乗車人員数（1日平均）	189,932人 (2017)	128,600人 (2021)	現状値からの増加 (2023)
3 圏域全体の生活関連機能サービスの向上	20～29歳人口における道外への社会増減数	▲2,805人 (2017)	▲2,029人 (2021)	▲1,400人 (2023)